



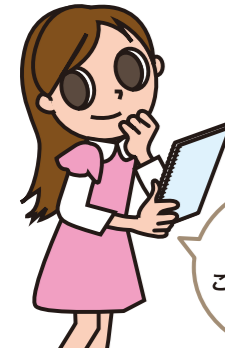
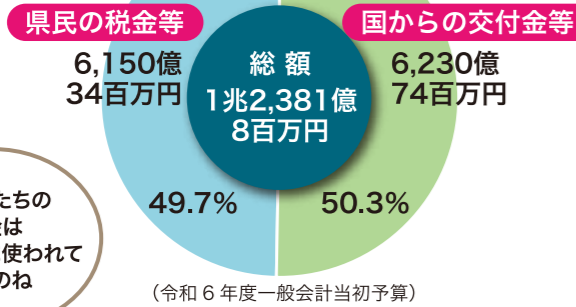


## みんながしあわせになれる県をめざして

県では、いろいろな仕事をしています。それには非常に多くのお金が必要です。お金を有効に使うため一年間の予算をたてて仕事をしています。収入として県に入ってくるお金(歳入)には、県民が県に納める税金と国からの交付金等があります。支出として仕事のために、県が使うお金(歳出)の使いみちは次のようにして決めます。まず、知事が県民のための仕事とそれに必要なお金の使いみちについて予算をたて県議会にはかります。県議会では知事から仕事や予算の説明を聞き、それに対しいろいろ質問をします。次に6つの常任委員会にわかれてよく内容を審査し、最後に県議会で決定します。知事は、県議会で決められた予算で仕事を進めていきます。

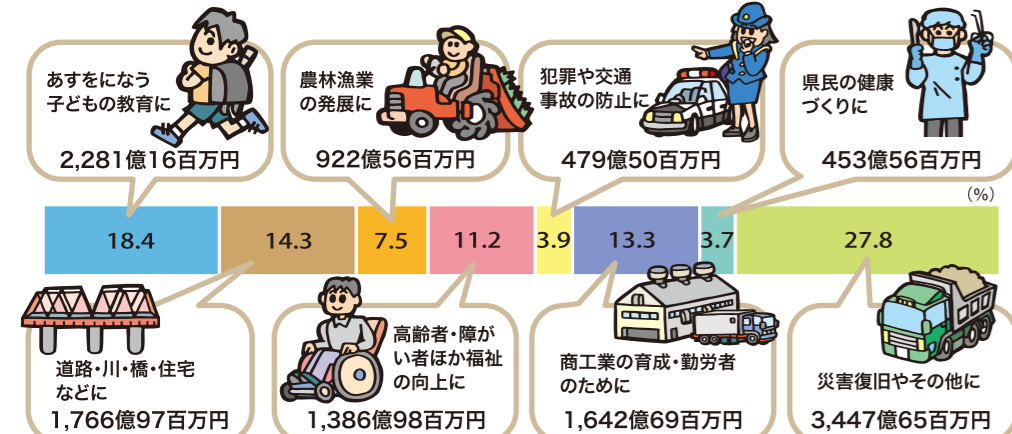


### 県に入るお金



### 県が使うお金

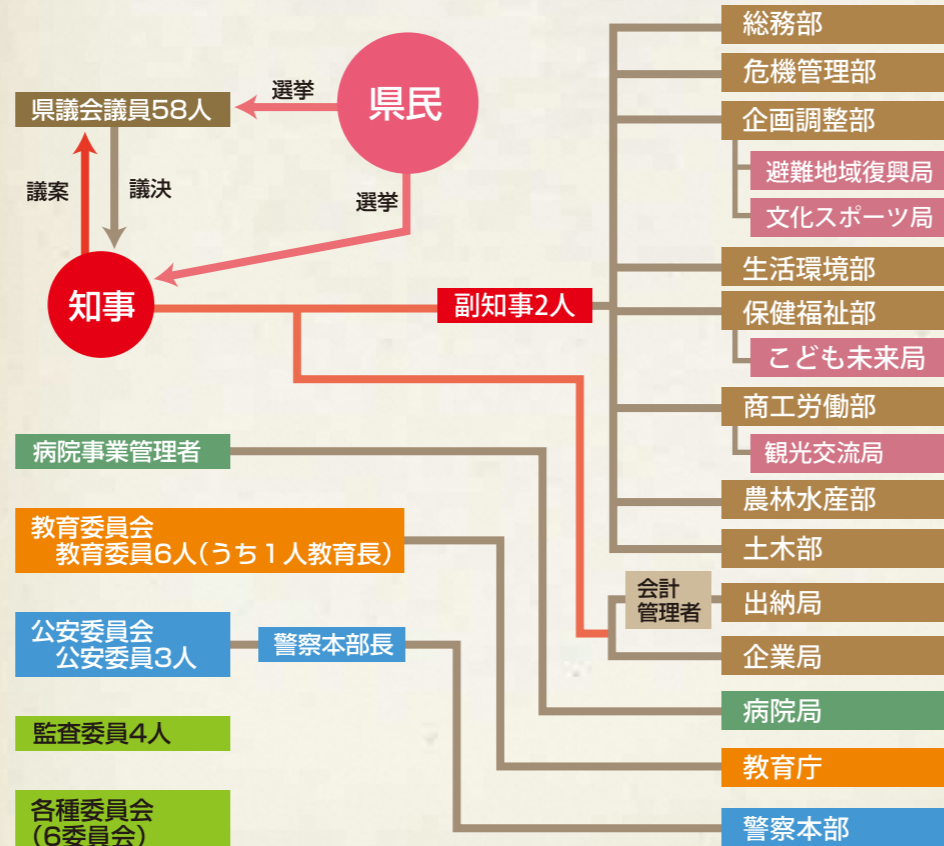
総額 / 1兆2,381億8百万円



※表示単位未満四捨五入により、計が一致していません。

## 県庁のしくみ

県民の代表である県知事と県議会議員は、県民の選挙で選ばれます。県の仕事は、知事が案を立て県議会にはかります。そこで決定したものは、県庁の各部署等に仕事をわけ、それぞれ効果があがるよう計画的に行います。その中で、教育に関係のある仕事は教育委員会を中心に、警察の仕事は公安委員会を通して警察本部長を中心に、お金の出し入れは会計管理者を中心に行います。監査委員は、こうした県の仕事やお金の出し入れが計画どおり正しく行われているかどうかを監査します。そのほか、県内各地に出先の事務所(地方振興局、保健福祉事務所、農林事務所、建設事務所、いろいろな試験研究所など)があって、県庁と連絡を取りながら仕事を行っています。



- 総務部** 県の財政や財産の管理、市町村への助言、職員の福利厚生のほか、県民からの意見・提案の募集やさまざまな相談への対応、テレビ・広報誌などで県の各種施策を広くお知らせする仕事を行います。
- 危機管理部** 県民のくらしの安全を守る防災、自然災害などが発生した場合の対応、原子力発電所施設の安全対策などの仕事を行います。
- 企画調整部** 県の未来を考えた計画をたてたり、よりよい県づくりのためのいろいろな事業を他の部と一緒に考えていきます。
- 避難地域復興局** 原子力災害により避難地域となった市町村の帰還や復興の支援、避難者支援、原子力災害で発生した損害賠償の請求の支援などの仕事を行います。
- 文化スポーツ局** 文化やスポーツ活動をさかんにするための仕事を行います。
- 生活環境部** 交通安全や消費者の保護など県民のくらしを守るための仕事や自然保護、ゴミ問題などの環境保全の仕事を行います。
- 保健福祉部** お年寄りや障がいのある人達の生活をより良くするための仕事や、県民の健康を守るための仕事などを行います。
- こども未来局** 安心して子どもを産み育てることができるように、子どもと子育ての支援や青少年の健全育成などの仕事を行います。
- 商工労働部** 商工業をさかんにするための支援や、働きやすい職場づくりや仕事探しのお手伝いなどの仕事を行います。
- 観光交流局** 観光や、県産品、福島空港をPRする仕事を行います。
- 農林水産部** 農林水産業をさかんにするための支援、豊かで活力ある農産漁村づくりや森林を整備するための支援を行います。
- 土木部** 安全で安心できる暮らしや美しく暮らしやすい地域(まち)をつくるため、道路・川・ダム・港・空港・下水道などの建設や管理を行います。
- 出納局** 県の会計(お金の出し入れ)を管理する仕事を行います。
- 企業局** 企業などへの工業用水の供給を通じて、雇用拡大など地域の振興を図っています。
- 病院局** 病気がケガのときなど、県立病院で患者の方々々に適切な診察・治療を行います。
- 教育庁** 学校教育と社会教育を充実させるための仕事や、学校・教育関係施設の整備を行ったりします。
- 警察本部** 犯罪の取り締まりや交通の指導などを行います。

## 福島県をデータで見てください

- 福島県の面積(令和5年10月1日現在)**  
13,784.39km<sup>2</sup> (資料: 全国都道府県市町村別面積調(国土地理院))
- 福島県の人口(令和6年2月1日現在)**  
総数………1,759,474人  
人口密度………128人(1平方キロメートル当り)  
世帯数………749,412世帯  
(資料: 福島県現住人口調査結果(県統計課))
- 福島県内の市町村数(令和6年3月1日現在)**  
市の数…13市 町の数…31町 村の数…15村 合計59市町村
- 福島県内にある学校数・生徒数**  
(令和5年5月1日現在、公・私立・分校を含む)  
小学校………390校 83,340人  
中学校………212校 44,224人  
義務教育学校………7校 1,374人  
高等学校(通信制課程を除く)………97校 42,668人  
高等専門学校………1校 1,070人  
大学(短大含む)………13校 17,545人  
特別支援学校………26校 2,447人  
(資料: 「令和5年度学校基本調査」(文部科学省))



- 出生(令和4年)**  
9,709人 54.1分ごとに1人誕生  
(資料: 令和5年版福島県勢要覧)
  - 死亡(令和4年)**  
27,394人 19.2分ごとに1人死亡  
(資料: 令和5年版福島県勢要覧)
  - 県民所得(令和2年度)**  
5兆1,929億円  
県民1人あたり283万3千円  
(資料: 令和2年度福島県民経済計算の概要(県統計課))
  - 県税の額(令和5年度当初予算)**  
2,408億8,600万円  
県民1人当たり13万1千円  
(資料: 福島県の財政第151回(県財政課))
  - 観光客数(令和4年)**  
47,686,881人 1日に130,649人  
(資料: 「観光客入込状況令和4年分」(県観光交流課))
  - 産業別就業者数の割合(令和2年)**  
就業者数942,997人
- |               |       |              |       |
|---------------|-------|--------------|-------|
| 第1次産業         | 6.2%  | 農林漁業         | 6.2%  |
| 第2次産業         | 29.6% | 製造業          | 19.1% |
|               |       | 建設業          | 10.4% |
|               |       | 鉱業・採石業・砂利採取業 | 0.1%  |
| 第3次産業及びその他の産業 | 64.2% | 卸売・小売業       | 14.6% |
|               |       | 医療・福祉        | 12.9% |
|               |       | 宿泊業・飲食サービス業  | 5.1%  |
|               |       | 運輸業・郵便業      | 4.8%  |
|               |       | その他(サービス業等)  | 26.8% |
- (資料: 令和5年版福島県勢要覧)

